

第56回公共施設等総合管理計画 策定推進本部		日時	令和8年6月9日（火） 9：02～9：12	場所	庁議室
出席者 （15人）	白井市長、神山副市長、古橋副市長、大熊教育長 梅原企画財政部長、堤庁舎建設等担当部長、鈴木総務部長、深澤市民部長、今井環境部長、 高橋福祉保健部長、根本子ども家庭部長、田部井都市整備部長、大澤学校教育部長、平野 生涯学習部長、宮奈議会事務局次長（伏見議会事務局長代理）				
欠席者	なし				
事務局	企画政策課 郷古公共施設マネジメント推進担当課長				
議題	1 公共施設の在り方・再編の検討の進め方について				
資料	1 公共施設の在り方・再編の検討の進め方について				
（進行：企画財政部長）					
【議題1】 公共施設の在り方・再編の検討の進め方について					
（本件については、事務局が説明を行った。）					
○ 本件は、令和8年3月に策定した「小金井市公共施設在り方・再編方針」に基づき、今後の建築系公共施設 の再編に向けた具体的な検討を開始するものである。					
○ 検討の趣旨は、公共施設等総合管理計画における基本目標である「将来の人口動向に合わせ、総量抑制に 努めるとともに、将来更新費用及び維持管理費の縮減に努める」ことを踏まえつつ、市民サービスの維持・ 向上と持続可能な公共サービスの実現を図ることにある。					
○ 基本的な考え方として、大きく4つの視点で検討を進めることとしている。 1点目は、「6つのビジョン」の共有であり、単なる施設更新ではなく、多世代交流や地域防災等の機能 を含めた本市が目指すべき将来像の実現を目指すものである。 2点目は、エリア設定の考え方であり、日常生活圏としての「地域コミュニティエリア（5エリア）」と、 市内外から人が集まる「交流・創造の拠点」を組み合わせる検討を行う。 3点目は、学校施設についてであり、市内公共施設の延床面積の約6割を占める学校施設の更新時期を契 機として周辺施設との集約・複合化を検討する。 4点目は、「エリア最適化」の視点であり、個別施設ごとの更新ではなく、地域全体として必要な機能整 理と配置の適正化を図るものである。					
○ 検討単位については、中学校区を基本とした5つのエリアとする。 優先順位については、「学校施設長寿命化計画改定版」において、令和9年度から構想・設計が予定され ている小金井第三小学校及び小金井第一中学校を含む北西エリア、北東エリア及び市外施設から先行して 着手することとしている。 その後、小金井第二中学校の建替え時期を見据えた南エリア、さらに南西エリア及び南東エリアの順に段 階的に検討を進める。					
○ 想定スケジュールについては、令和8年度から北西エリア、北東エリア及び市外施設の検討を開始し、順 次他エリアへ展開する。 検討内容としては、庁内検討として施設カルテ等を活用した施設類型ごとの課題整理を行うとともに、エ リア単位での集約・複合化の可能性を整理し、エリア全体の最適化を図ることとしている。 また、市民参加としてワークショップやアンケートを実施し地域ニーズを反映するとともに、PPP／P FI等の官民連携手法の活用可能性を含め、実現可能性の検証を行い構想として取りまとめる予定である。					
【関連質疑等】					
○ 学校の更新計画に合わせて再編を進めていくようだが、学校を複合化対象とすることで合意形成済みか。 →学校施設長寿命化計画においても促進すると書いていただいている。なお、教育委員会とは今後も連携 をしていきたいと考えている。					
○ 既存施設中心で説明があったが、現存しない施設である市政センター、まちづくり事業用地、一小・南小 地区児童館寄付地、男女平等推進センターなどについてはいつ検討するのか。これらの施設は北東エリアに 多く存在していることもあり、現実的には北東エリアを対象に絞り込んで、優先的にやったほうが、市の課題 解決に資するのではないかと。					
→新規施設については、エリアでの検討の際に併せて検討する。第一中学校の長寿命化に向けての構想が					

始まるため、北東エリアだけでなく、北西エリアも併せて検討を行う。

○ 市内外から人が集まる「交流・創造の拠点」の2つの視点を組み合わせて検討すると資料にあるが、検討スケジュールに含まれていない。どこで検討を行うのか。

→ 5つのエリアを検討する際に併せて行う予定である。

— 以上で、会議終了 —